

点検・評価の様式（手引版雛形）

| | |
|--|--|
| 政府統計コード | 00600890 |
| 基幹・一般の別(選択記入) | 特定一般統計調査 |
| 調査の名称 | マンション総合調査 |
| 政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可) | <input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用 |
| | <input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用 |
| | <input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用 |
| | <input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用 |
| | <input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用 |
| | <input type="checkbox"/> その他 |
| 特記事項 | |

① 調査計画との整合性確保等の観点

| | | |
|-----------------------------|---|-------------|
| 調査計画との整合性 (整合している場合チェック) | <ul style="list-style-type: none"> ☐ 1.調査の目的 ☐ 2.調査対象の範囲 ※ ☐ 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 } ☐ 4.報告事項とその基準期日 ※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 } ☐ 5.報告の方法 ※ { 報告を求めるために用いる方法 } ☐ 6.報告を求める期間 ※ ☐ 7.集計事項 ※ ☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ { 調査結果の公表の方法及び期日 } ☐ 9.使用する統計基準 ☐ 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 } ☐ 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ } | [一部不整合あり] |
|-----------------------------|---|-------------|

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

| 点検・評価事項等 不整合の項目 | 調査計画との整合性 | | 不整合が生じている場合の対応状況 | | |
|--------------------|--|---|---|----------------|---|
| | 不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能) | | 対応方法 (複数選択可能) | 対応状況 (選択記入) | 左記対応の概要(自由記入) |
| 8. 調査結果の公表の方法及び期日※ | <input type="radio"/> 公表実施時期 <input type="radio"/> e-Statの掲載 <input type="radio"/> その他 | <input type="radio"/> 公表媒体 <input type="radio"/> 閲覧表 | <input type="radio"/> 調査計画の変更申請 <input type="radio"/> 調査計画の軽微変更 <input type="radio"/> 業務マニュアルの整備充実 <input type="radio"/> 実施方法の見直し その他 | 対応中/対応予定 | 公表遅延の理由と新しい公表予定日をHP及びe-statにて周知した。次回調査に向けて、回収率向上の施策を検討していく。 |
| | 特記事項 (○をつけた項目の概要を記載してください) 回収率が低く、統計調査の精度が下がる恐れがあったため、督促期間を延長した結果、公表時期が一ヶ月後ろ倒しとなった。 | | | | |

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

| | |
|---|---|
| 業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等 | <ul style="list-style-type: none">□ 課題なし□ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）□ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等） |
|---|---|

③ 必要な精度の確保・向上の観点

| | 目安としている指標の設定状況 | | | 目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可) | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|--|------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | 精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可) | 目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可) | 目安としている 指標の設定時期 (自由記入) | 今回調査 (又は前回調査) | 前回調査 (又は前々回調査) | 前々回調査 (又は前々前回調査) |
| 1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況 | 達成精度 | マンションストック数について地域差があるため、1,000管理組合以上ある都道府県を大規模都道府県とし、その他の県については地域ブロック毎にセル化を実施。過去の回収率から、有効回収率45%を目安に設定。(詳細は別添1) | 令和5年度の調査計画設定時 | 平成30年度調査 管理組合：40.2% 区分所有者：38.2% | 平成25年度調査 管理組合：63.8% 区分所有者：65.4% | 平成20年度調査 管理組合：47.9% 区分所有者：49.3% |
| | <input type="radio"/> 回収率・回答率 | | | | | |
| | <input type="radio"/> 回収調査票数 | | | | | |
| | カバレッジ | | | | | |
| | その他 | | | | | |
| 設定なし | | | | | | |

重点的な検証の結果(整理票様式)

| | |
|---|---|
| 統計調査名 (調査区分等) | マンション総合調査(一般統計調査・5年周期・標本調査) |
| 検証の経緯 | <input type="checkbox"/> シート① 調査計画と実施状況との不整合 <input type="checkbox"/> シート② 調査計画との不整合は生じていないものの改善を検討 <input checked="" type="checkbox"/> シート③ 精度の確保・向上等の観点からの改善余地 <input type="checkbox"/> シート④ その他の観点からの改善余地 |
| 【現状・重点的な検証実施の必要性】 ○ 地域による標本数の変更や、手引きの充実化、調査期間の延長、督促期間の延長、督促チラシ作成によって回収率向上の工夫はしたが、目標回収率45%には、未達であった。(目標回収率：45%、管理組合回収率：37.2%、区分所有者：36.3%)。 | |
| 【検証結果】 ○ オンライン回答率が向上(管理組合H30：14.7%→R5：29.1%、区分所有者H30：15.6%→R5：30.2%)している一方で、紙による配布については、配布する管理業者等が督促するまで放置してしまったり、管理組合において誤って廃棄してしまったりする事象が確認された。 ○ 調査項目が多く、回答者の負担が大きいのではないかという総務省の指摘があった。 ○ 調査対象者に直接連絡する手段がないため、実際に配布されているのか、督促できているのか不明確。 | |
| 【今後の改善・対応方策等の案】 ○ 回収率向上のため、配布方法の効率化、回答者へのインセンティブ等を検討する。 ○ 調査項目について、利活用状況を整理し、調査項目を減らすもしくは簡易に回答できる方策を検討する。 | |
| 【最終的な点検・検証結果】 概ね妥当。次回調査に向け、回収率向上に繋がる方策や調査項目の改善について、引き続き検討すること。 | |

※ 本整理票は、重点的な検証を行った事項ごとに作成。

※ 本整理票には、必要に応じて調査票、集計事項一覧等の関係資料を添付。